

# スポーツと私 わたし 私

生涯スポーツ シリーズ No13

## バレーボール

### 助け合いのスポーツ

板井一 丸山 智也

私は、中学校からバレーボールを始めました。最初は、他のスポーツをしてみようと思ったのですが、いろいろなスポーツをしてみなかったで、バレーボールを選びました。最初は、「声出し」、「オーバーパス」、「アンダーパス」の基礎練習。毎日、つき指をしていたので、両手は痛くて痛くてたまりませんでした。

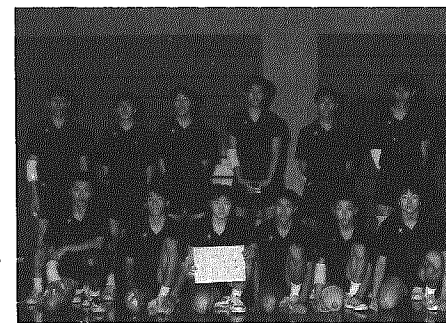
毎日毎日、基礎ばかりなので、1カ月ぐらいたつと、だんだんバレーボールらしくなってきたので、とても私はうれしかったです。そして、スパイクのフォームの練習などをしていたら普通のバレーボールになった気がしました。

先輩が引退して私達の時代になったけれど、私達の代では地区大会へ行くことはなかったです。高校は東京学館に行きました。そこは、バレーボールがとても強い学校でした。ですが、全国大会はまだ1回も行ったことのないチームでした。新人戦は勝っても、全国のかかる試合になると、必ず負けて、涙をのんでいました。

そして、私達の代になり、新人戦、春高予選と2度も負けました。次のインターハイ予選で私達は引退です。最後の全国大会への地区予選で初優勝。県大会を勝ち続けベスト4までできました。

準決勝では、いつも負けている巻高校、1セット取り波に乗る学館は2セット目も取り2-10で学館勝利。私達は初の決勝です。明訓にも1セット目、2セット目と

内ナンバーになりました。その中に私はいました。今後の私達の目標は全国ベスト8です。今はただの通過点でしかありません。次の日から、また練習。次の北信越大会と中部日本の大きな大会の2つ、そして、インターハイ。2つともベスト8で負けました。でもインターハイでは勝つてやると思えました。しかし、全国の壁はとも厚く、1回戦の千葉県代表



勝ち学館の初の全国を決めたのが私達だったのです。とてもうれしかったです。ここまでくると、2回も涙をのみ、何回も遠征に行きました。練習も昨年と違い、とてもきびしくなりました。やめたいと思った事もあります。でも、あきらめず一日一日とがんばった成果が全国大会出場。とてもうれしかったです。本当に学館にきてよかったと思います。中学では負けばかりだったのに、高校では県

志野高校との試合では、1-2で負けました。私達の目標は達成できませんでした。けれど私達の代で初の全国を決めたので、私は満足です。

バレーボールは、チーム全員で戦う種目です。最初にボールをさわる人は、次にボールをさわる人。いいレシーブをする。2回目のセッターは、最後のアタックのためにいいトスを上げる。最後のアタッカーの人もいっさりスパイクを打てるように残り5人は、カバリーに入りアタッカーを助ける。アタッカーは残りの5人ため、チーム全員のためにおもいきりスパイクを打つ。

そして、決まった時は、チーム全員でやる。バレーボールは助け合いのスポーツです。

私は、バレーボールを通して、助け合うことを学び、そして、決してあきらめないことを学び、バレーボールの楽しさを学びました。

その楽しさを多くの人に感じてほしいです。私はバレーボールが大好きだから、バレーボールをずっとずっと続けていきます。

黒崎町も、少しバレーボールに力を入れていただきたいです。小学生からのバレーボール教室や、小学生チーム、老人チームなどを作ってほしいです。

もっと多くの人々にバレーボールから何かを学んでほしい。楽しさを学んでほしいです。

その楽しさを多くの人に感じてほしいです。私はバレーボールが大好きだから、バレーボールをずっとずっと続けていきます。

黒崎町も、少しバレーボールに力を入れていただきたいです。小学生からのバレーボール教室や、小学生チーム、老人チームなどを作ってほしいです。

もっと多くの人々にバレーボールから何かを学んでほしい。楽しさを学んでほしいです。

◆町民バレーボール大会  
(3月8日、総合体育館)  
男子の部 優勝・しまちゃんず②  
TOZ③レッドハンター③GUTS  
女子の部 優勝・新潟風クラブ②  
山田クラブ③フレッツシユ黒崎 敢闘賞・大野



第7回クロネコカップ春の全国小学生ドッチボール選手権北信越大会  
(3月1日、黒部市総合体育館)  
タチボトケ軍団(立仏小学校5、6年生混成チーム)は予選リーグ4位で、惜しくも決勝トーナメントに出場できませんでした。



スポーツ 大会



## やかた竿燈に向けて

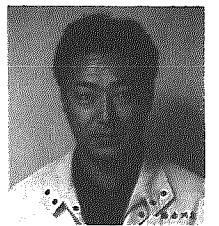
Part17

### 黒崎まつりは大野のまつり？

**ニュース** 3月4日、後場にて行われた黒崎まつり実行委員会で、今年のまつりの日程が、8月22日(土)と23日(日)に決まりました。時間等はまだまだ決まっていますが、多数の参加、見学をお待ちしています。参加を希望される方は、商工会青年部 (☎377-3155) へ

入札結果 ガス水道局 総務課

事業名	請負者	請負額	完成期限
理科教育等設備整備事業	株式会社西野商店	807,450円	平成10年3月16日



寺地中 赤川 修

私は商工会青年部に入って今年で3年目に入りました。このやかた竿燈に関しては、昨年から広報班に所属し1年間活動してきました。私自身住んでいる地区が寺地ということもあり、正直言って商工会青年部に入るまでは、黒崎まつりは大野のまつりという感覚でとらえていたので、1回も見に行ることがなかったのです。実際、昨年の広報班の活動の中で、協賛広告の掲載をお願いに回っている時も「黒崎まつりでこんなことやっているの(やかた竿燈)」という声が多々聞かれ、こうしたことから黒崎まつりの行事の一つとして、まだ、町全体に定着していないように感じました。こうした現状の中、昨年、我々広報班が行った主な活動は、

- ①PRポスターの作成、配布
  - ②テレビ、ラジオ等でのPR
  - ③協賛広告の作成、全町内配布
  - ④広報くろさきに「やかた竿燈に向けて」を連載
- 以上のようなことを行い、少しでも黒崎まつりで、何をしているのか分かって頂けたと思います。

今年は町制施行25周年という黒崎まつりにとっても、一つの節目の年になると思われれます。我々商工会青年部も毎月1、2回程度の会議を開いて黒崎まつりを成功させるため、話し合いを重ね、毎年、規模の大きいまつりにと考えています。広報班としても、より多くの町民の皆さんに、やかた竿燈を知ってもらい、見て頂き、そして、参加してもらえるように今年もいろいろな方法でPRしていきたいと思っています。団体でも個人でも構いませんので、皆さんの参加をお待ちしています。